



第1回伊藤杯争奪駅伝大会
昭和27(1952)年



平成22(2010)年



昭和51(1976)年



令和4(2022)年

3年ぶりにスタート



昭和40(1965)年



昭和47(1972)年



平成6(1994)年



校長の
スタート合図



1区から2区に中継

山形東高 同窓会 会報

第75号
令和5年4月20日

【発行所】 〒990-8525 山形市緑町1-5-87
山形東高同窓会事務局
TEL・FAX (023) 631-7501
【URL】 <https://www.yamatoudousoukai.com>
【E-mail】 info@yamatoudousoukai.com
【発行人】 渡辺 季子
【印刷所】 坂部印刷(株) TEL (023) 631-2056

伝統とたすきがつながる 新入生歓迎駅伝大会

「伝統の駅伝大会を経験しないで3年生を卒業させるわけにはいかない」。開会式で須貝校長先生の力を込めた言葉が、馬見ヶ崎川の河原に集った山東健児の胸を打った。令和4(2022)年5月20日(金)、風薫る五月の新緑の中、本校伝統の「新入生歓迎駅伝大会」が令和元(2019)年5月8日(水)の実施以来3年ぶりに開催された。

令和2(2020)年2月から新型コロナウイルス感染症の影響で、駅伝大会も2回の中止を余儀無くされた。令和2年度は、前年度末の2月28日から感染症対策のため学校が全国一斉臨時休業になり、4月16日(木)の入学式の後、当面の間オンラインでのリモート授業になり、登校しての部分的授業再開は5月18日(月)からで、駅伝大会はできなかった。令和3年度は5月14日(水)の予定であったが、校外で高校生が大人数で学校行事を行うのはまだ難しいとの判断から、苦渋の中止の決定となった。

我が国の駅伝競走は、大正6(1917)年4月27日～29日の「東京箱根間往復大学駅伝競走」は第1回大会が大正9(1920)年2月14日に4校(高師・明大・早大・慶大)の参加で行われた。本校の駅伝大会は、昭和26(1951)年に始まった。その年の9月30日に男子生徒によって市内を一巡するコースで行われ、昭和27(1952)年から、伊藤杯(駅伝大会の優勝杯)寄贈を機会に定例校内体育行事として春・秋と年2回の開催となった。第1回春季大会は、平和条約が発効して間もない5月2日に開催された。本校・市内各所を8

の字形に一巡するコースで行われていたが、モータリゼーション化が進み、主要幹線道路での大会開催が難しくなったことから、昭和31(1956)年秋の大会より、馬見ヶ崎川の河原(馬畔)を中心とした会場(当時は循環2.4kmのコースを20人で走る)に変更された。昭和34(1959)年からは、新入生歓迎を兼ねた春の大会(5月1日・2日前後の日程)のみとなり、次のようにコースを変えながら今に至る。

昭和38(1963)～昭和47(1972)年度 沼の辺貯水池畔や、鈴川地区(神明神社)とその周辺
昭和48(1973)～昭和60(1985)年度 県営あかねヶ丘陸上競技場(昭和47(1972)年の山形インターハイのために竣工)とその周辺
昭和61(1986)年度～ (再び)馬見ヶ崎河畔コース 1980年代は川の兩岸、1990年代は左岸、最近の世代は右岸を走っている
男子:3000m前後の長めのコース、1800m前後の短めのコース 女子:1800m前後のコース

3年ぶりの令和4年度の駅伝大会は例年よりも遅い時期(5月20日)での開催となり、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、走る時以外は常にマスクを着用すること、声を出しての応援は禁止とし拍手による応援を行うこととした。会場は馬見ヶ崎河川敷の西側コース(川の右岸にあるグラウンドに集合し、そこを発着・中継点とする)。短く距離を設定し、男子コース約2.0km(千歳橋の少し手前で折り返し)を男子7名で7区間、その後、女子コース約1.5km(東小学校の北西の河川敷で折り返し)を女子10名で10区間、最後に、男子コース約2.0kmを男子3名で3区間、合計20区間(20名)でたすきをつなぐ、1～3年の計18クラス対抗の大会である。駅伝のスタートの前には、メンバーではない生徒の個人ロードレースも行われるので、この日は全員が健脚を発揮する日である。1年生は駅伝大会がどのようなものか当然知る由もないが、2年生・3年生も駅伝大会を知らないまま進級してこの春を迎えていた。駅伝大会の熱気を知っていたのは、職員チーム(走ることに対する体力的な心配はあるが)であり、3年ぶりの開催に胸を躍らせ、この日を待ち焦がれていた(と思われる)。

昔の思い出話を聞いてみると、部活動の先輩が後輩に対して熱心に指導して、疲労を蓄積させて駅伝大会に臨ませていたようだとか、大量のはちまきを手縫いで準備したこと、授業での長距離練習や大会で好記録の者には菓子パンや団子をお土産から進呈するという約束があったらしいこと、クラスの旗を作ったことなど、高校時代に一瞬で戻ってしまいそうな話題が満載である。雪が降った時もあったという。4月の体育の授業は長距離走で、体力のなさに打ちのめされ、複雑な思いを持つ生徒もいるだろう。1年生にしてみれば「新入生歓迎」と銘打つものの、先輩のあふれる熱気とみなぎる力を目の当たりにして山東生としての洗礼を受ける、一種の苦行のような行事である。

それでも、韋駄天も声援を送る人も、思い出に残るのが駅伝大会だ。生徒は生き生きとしていた。筆者も職員チームで走った。中継後は下りの傾斜で、走り始めるとぐんぐんスピードが上がる。風を切るのが心地よい。たすきを受け渡す時は疲れてスピードが上がらない。思いを込めて、たすきをつなぐ。苦しさの先にあったのは達成感。これが長距離走の醍醐味だ。この感覚を高校3年生の時にこそ味わいたかった。筆者が高校3年生の時、平成5(1993)年度の駅伝大会(4月30日(金))は、無情の雨のためスタート直前に中止となった。

これまでの中止(少なくとも3回)の思い出を乗り越え、令和4年5月20日午前9時55分、3年ぶりにスタートの号砲が鳴った。選手が1区から2区へたすきをリレーする。3年ぶりにたすきがつながり、駅伝大会の伝統もここに受け継がれた。 庄司 隆志(東臯会)



ご挨拶

同窓会会長 高橋 一夫

(山東21回・四六会)

2019年4月から、母校、山形東高等学校の同窓会長を引き継ぎ、20か所ほどある「地域職域の同窓会」にほぼ完璧に出席し、あまりにもまじめに痛飲したためか、翌2020年4月から通院する羽目になった、今年で71歳になる、高橋一夫でございます。一言、ご挨拶を申し上げます。

今年には2023年ですから、なんと、なんと、4年も経過してしまっただけですね。日本での新型コロナ騒ぎが2020年3月頃から本格化し始め、「同窓会まつり」はおろか、「地域職域の同窓会」まで、この3年間は、ほぼお休みの状況でした。個人的には助かりましたが。

他方、学校長から承りますと、新型コロナ禍での過酷な教育環境にもかかわらず、生徒たちの教育も順調に進んでいる様子で、菊池寛が書いたエッセイのタイトル「無事、これ名馬」を地で行っているようで、頼もしい限りです。

このように特に心配のいらぬ状況下ではありますが、同窓会にとって差し迫った大きな課題があるのです。

お聞き及びと思いますが、現在、同窓会で「募金活動」を行っています。2024年に創立140周年記念行事がありますが、その同窓会事業が「正門の復元建設及び周辺環境整備」なのです。募金の趣意書にも記載しましたが、母校の顔とも言うべき「正門」が、建設以来130年の年月を経て、風化や劣化が著しい状況にあります。特に、門柱の頭や脚の一部欠損が目立ちます。そこで、母校の強い希望もあり、役員会および評議員会でこれを創立記念事業とした次第です。また、この140周年記念事業の寄付募集では、所得税、法人税における税法上の恩典も享受できる建付けとなっております。

現在、「山東同窓会」のホームページに正門の現況に関する数枚の写真を載せてありますが、私のホームページ(下にQRコード記載)にも数十枚掲載しており、悲惨な現状を感じ取れます。

最後ですが、山東高同窓会に愛着を持っていただけるよう、役員ともどもがんばりますので、今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

高橋一夫ホームページ

山東同窓会の

「山形東高等学校創立140周年記念事業の起点」



注目される探究活動に皆様の応援を！

校長 須貝 英彦

(山東32回・槇音会)

令和4年度は、同窓会まつりをはじめ、東京同窓会、東海同窓会、体育部OB会の懇親会において、3年ぶりに学校の近況について直接ご報告する機会を与えていただき、誠にありがとうございました。他の支部等についても、徐々に会員の交流が再開しているとお聞きし、大変喜ばしく感じております。令和5年度こそは、全ての同窓会活動がコロナ禍前と同等、あるいはそれ以上に活発に行われることを切に願っております。

さて、様々な折に同窓生の方々とお話しする中で、母校のことを取り上げたテレビ番組を視聴したというお話をいただきます。令和3年9月に放映されたBSテレビ東京の「THE名門校」をはじめ、NHK(Eテレ)の「沼にハマってきいてみた」やBSよしもとの「日本全国なんでも甲子園」などの全国番組で本校生の活躍が取り上げられました。また、地元での放送や新聞でも、近年本校生の露出度が高まっています。これらの多くは、探究科の設置を機に、普通科も含めて全校で取り組んでいる探究活動に関するものです。探究のテーマは多岐にわたりますが、例えば山形の伝統農産物であるハッカに着目した地域活性化の取り組みや、若者に山形交響楽団の魅力を伝える試みなど、従来は学校と家庭に活動範囲が限られていた高校生が、地域の方々や関係者と協働して主体的に活動する姿が目立っているのだと思います。一見、教科の学習には直結しないテーマも多くありますが、将来社会に出て活躍する自己の姿を想像し、その夢の実現のために日々の学習に励む必要性を再認識するという意味で大変有意義な活動であると考えております。

同窓生の皆様にも生徒の探究活動に応援をしていただきたく、「山東探究塾サポーターズクラブ」を設立いたしました。オンラインを用いるなどして、生徒の相談に応じていただくことを想定しております。詳しくはQRコードから専用HPをご覧ください。是非、登録をお願いいたします。



令和4年度事業報告

140周年記念事業の始動
三年ぶりまつり再開 疫禍に耐えて前進

令和4年

- 4月6日 事務局会議
事務局構成・業務分担
- 4月8日 令和4年度入学式(学校)
- 4月20日 同窓会報第74号発行
- 4月22日 会計監査

- 5月9日 第1回役員会
令和3年度事業報告・決算
監査報告
令和4年度事業計画・予算
140周年記念事業準備委員会
- 6月10日 140周年記念事業実行委員会
設立総会
- 7月5日 令和4年版会員名簿発行
- 7月6日 全国大会出場選手激励会
- 8月24日 第2回役員会
維持会費のスマホ決済導入
総会・表彰式・まつり

- 8月26日～28日 山東祭(学校)
- 8月27日 「30歳になったら東高に帰ろう」
ホームカミングデー六黎会
- 9月2日 第1回評議員会
第1・2回役員会と同じ



選手激励 森谷体育部OB会長

令和4年度 予算執行状況

(令和4年4月1日～令和5年1月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	予算額			収入済額	摘要
	当初	補正	計		
維持会費	6,900,000	△440,000	6,460,000	6,426,000	ゆうちょ銀行846件(含持込)、コンビニ1,259件
入会金	1,180,000	0	1,180,000	1,180,000	5,000円×236人
積立金より	0	0	0	0	
繰越金	971,107	0	971,107	971,107	
雑収入	100	2,233,915	2,234,015	2,234,015	利子、名簿発行還元金 2,234,000円
合計	9,051,207	1,793,915	10,845,122	10,811,122	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額			支出済額	摘要
	当初	補正	計		
総会費	390,000	△35,944	354,056	354,056	資料印刷、案内送付費、まつり補填費
会議費	1,000,000	△160,000	840,000	566,620	評議員会、140周年事業会議
表彰費	470,000	△222,643	247,357	247,357	表彰状、喜寿記念品5000円×32人等
会報発行費	3,100,000	△8,291	3,091,709	2,096,022	16,800部 会報印刷、送付費
通信費	140,000	0	140,000	109,574	NTT、切手、葉書
慶弔費	140,000	0	140,000	75,830	慶弔電報、香典、饞別
諸手当	30,000	△18,500	11,500	11,500	事務補助費
生徒活動支援費	300,000	△200,000	100,000	100,000	全国大会出場お祝
奨励費	30,000	△3,820	26,180	23,980	同窓会賞副賞、賞状筆耕
活動推進費	350,000	△31,818	318,182	318,182	支部総会お祝い、若手学年支援、旅費
資料整備費	30,000	△30,000	0	0	
事務費	1,400,000	△70,000	1,330,000	1,122,426	事務局運営費、一般事務費
寄付金	1,100,000	0	1,100,000	1,100,000	山東教育後援会へ
積立金	0	1,680,000	1,680,000	0	同窓会基金、校史資料整備費へ
振込料金	430,000	△19,000	411,000	407,513	ゆうちょ銀行、コンビニ、振替通知書
予備費	141,207	913,931	1,055,138	0	
合計	9,051,207	1,793,915	10,845,122	6,533,060	

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である

令和5年度 予算(案)

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	差額(A-B)	摘要
維持会費	6,500,000	6,900,000	△400,000	
入会金	1,180,000	1,180,000	0	5,000円×236人
積立金より	0	0	0	
繰越金	1,050,000	971,107	78,893	
雑収入	100	100	0	
合計	8,730,100	9,051,207	△321,107	

支出の部

(単位：円)

科目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	差額(A-B)	摘要
総会費	350,000	390,000	△40,000	資料印刷、案内送付費等、まつり補填費
会議費	1,000,000	1,000,000	0	役員会、評議員会、140周年事業会議
表彰費	260,000	470,000	△210,000	表彰状、記念品
会報発行費	3,100,000	3,100,000	0	16,800部 会報印刷、送付費
通信費	140,000	140,000	0	NTT、切手、葉書
慶弔費	140,000	140,000	0	慶弔電報、香典、饞別
諸手当	30,000	30,000	0	事務補助費
生徒活動支援費	300,000	300,000	0	全国大会出場激励お祝
奨励費	30,000	30,000	0	同窓会賞副賞、賞状筆耕
活動推進費	350,000	350,000	0	支部総会お祝い、若手学年支援、旅費
資料整備費	30,000	30,000	0	資料保存費等
事務費	1,350,000	1,400,000	△50,000	事務局運営費、一般事務費
寄付金	1,100,000	1,100,000	0	山東高教育後援会へ
積立金	0	0	0	
振込料金	420,000	430,000	△10,000	ゆうちょ銀行、コンビニ、振替通知書
予備費	130,100	141,207	△11,107	
合計	8,730,100	9,051,207	△321,107	

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である

—いつでもどこでもスマホから 維持会費納入がより便利になりました—

維持会費にご協力いただきましてありがとうございます。スマホアプリ決済が加わり、納入がより便利になりました。詳しくは「維持会費納入状況報告」をご覧ください。振込料金(同窓会が負担)を抑え実収入を確保する取組みにもどうぞご協力下さい。

- 振込料金の安い方でご協力を。郵便局の窓口(203円)・ATM(152円) コンビニ(198円) スマホ(198円)
- 郵便局での現金の振込みは、令和4年1月17日より110円(払込人が負担)が加算されますのでご留意下さい。
- ご家族など複数名で振込まれる場合、「郵便局」振込用紙の「通信欄」にそれぞれの氏名・卒業年・金額を列記し、合計金額を一括してお振込み下さい。
- 銀行のネット取引サービス(無料)や、ゆうちょ銀行の電信振替のご利用もどうぞご検討下さい。

9月8日 正門石材の採石場見学会
 9月28日 U40評議員の集い
 10月1日 140周年記念事業募金開始
 10月15日 同窓会総会・表彰式・まつり
 10月21日 酒田山東会総会
 10月29日 創立138周年記念式典(学校)
 10月30日 関西山中山東同窓会総会
 11月6日 山中山東東京同窓会懇親会
 11月7日 正門石材の原石搬出作業
 11月19日 山中山東東海同窓会総会

11月24日 臨時役員会
 篤志寄附募集・施工業者選定方法
 12月21日 松田杯等四賞授与(学校)
令和5年
 2月2日 体育部OB会総会
 2月3日 第3回役員会
 常任委員・評議員会に向けて
 役員四役会
 篤志寄附募集推進
 2月9日 山東教育後援会へ寄付金贈呈
 第1回常任委員会
 140周年記念事業経過報告

施工業者選定・追加工事
 第2回評議員会
 次期役員選出
 令和4年度補正予算
 まつり決算
 令和5年度事業計画・予算
 3月2日 同窓会入会式
 令和5年卒山東73回
 蒼朋会(そうほうかい)
 評議員 高橋壮翔
 3月3日 令和4年度卒業式(学校)
 同窓会特別賞授与

令和4年度 同窓会総会・表彰式・まつり



山形東高同窓会総会・表彰式・まつりが10月15日(土)、山形市のホテルメトロポリタン山形で開かれました。新型コロナウイルスの影響で2年続けて延期となっていました。3年ぶりによく実現。来賓・会員合わせて135人が一堂に会し、交流を深めました。

総会では、本年度事業計画や創立140周年記念事業計画が承認されました。高橋一夫同窓会長と須貝英彦校長は「2年後の140周年に向けぜひ協力を」「生徒は文武両道で頑張っている。ご支援をお願いします」とそれぞれ挨拶しました。表彰式では永年勤続職員に感謝状を贈呈、同窓会功労者の菱川道生先輩に表彰状が贈られました。喜寿者への賀詞・記念品贈呈もあり、笑龍会の伊藤修二先輩が代表挨拶しました。

同窓会まつりは継世会の丹野善将実行委員長の挨拶で幕開け。山形東高3年の本間光さん(バイオリン)と、姉の山形大2年・葵さん(ピアノ)が「序奏と Rond・カプリチオーソ」を演奏、会場いっぱい美しい音色を響かせました。コロナ禍ということもあり、校歌と「お・勝利」は「心の中で」歌う黙唱。万歳三唱も声を出さず手を上げるだけという異例の形となりました。それでも、「世代を超えて集い、懐かしみ、親交を深めるこ

とが同窓会まつりの大きな意義。リモートというわけにはいかない(丹野実行委員長)。楽しい時間は短く感じるもので、「リアル同窓会」はあっという間に過ぎていきました。

「ここは私のおごりだ」と僕らの分の会計を済ませ喫茶店を去っていく先生、「やんごとない」と口にしながら日本史を教えてくれた先生、窓枠の隙間から雪が入り込み、モップで除雪した体育館—すべて懐かしい思い出です。

コロナ前は600人を超える同窓生が参加していました。今回は残念ながら5分の1ほどの規模となりましたが、当番幹事一同、精一杯務めさせていただきました。至らない点も数多くあったと存じますが、ご容赦いただければ幸甚です。
(継世会 松田直樹 記)



令和4年度 同窓会功労者表彰

《支部長功労》 ひし かわ みち お 菱川道生様 (山東16回・竹馬会)

【表彰理由】 平成9年の関西山中山東同窓会の再結成時より、山形から最も遠い地にある同窓会の伝統を守らんとご尽力され、平成22年からは10年間にわたり会長として、新規会員の勧誘や役員の刷新化を図られ、次代を見据えた活動を推進されました。関西同窓会の発展と活性化に寄与されたご功績を讃え、感謝を込めて表彰いたします。



令和5年度

同窓会総会・表彰式・まつり

令和5年10月14日(土)

ホテルメトロポリタン山形

- ◆ 日 程：総会／午後5時00分～
表彰式／午後5時30分～
まつり／午後5時50分～
- ◆ 出席者：来賓、受賞者、喜寿者(竹馬会) 役員、学年から2名 計200名程度
- ◆ 会 費：7,000円、チケット販売なし
- ◆ 当番幹事：双翼会(山東34回)・瑞雪会(山東56回)

【開催にあたって】 感染対策を重視して、出席者を会場の収容人数の50%にあたる200名に縮小し、「まつり」は短時間で料理も個別に準備いたします。変更が生じた場合、ホームページでお知らせします。



“こぼし 起き上がり小法師の如く” 山東15回・笑龍会



このたび喜寿を迎え山東同窓会からお祝いを受けたのは、昭和40年3月に卒業した「笑龍会」の面々である。卒業生は310名。戦後に生まれ、幼少期は物不足や食糧難を経験したが、青少年期は高度経済成長期で右肩上がりの時代を過ごすことが出来た行け行けどんどの世代である。昭和37年4月、あこがれの山形東高等学校へ入学。輝かしい歴史と伝統を築き上げてきた母校の正面玄関は見るからに風格があり、歴史的建造物の雰囲気を感じていた。先生方の厳しさも肌で感じた。出来が悪くてチョークを飛ばされる授業もあったが、よく卒業まで面倒を見てくれたものだただただ感謝しかない。

3学期の昭和39年(1964)は東京オリンピックの年で、聖火リレーは我が学年からも精鋭が参加、日本中が沸き返ったのを思い出す。汽車通学ではまだSLが走っていたが、東海道新幹線が開業するなど社会資本の整備が急ピッチで進み、新しい日本の未来が開けていくのを感じた。母校はちょうど創立80周年に当たっており、当時の同窓会報(まだ山中の名称だった!)を見ると9月に講堂で記念式典が行われ、記念事業は手狭になった講堂の拡張工事、グラウンドの夜間照明の設置、理科教室の建設であった。

当時の出来事では新潟地震のことが忘れられない。2階の教室で午後一番の地理の授業が始まった途端、新潟を震源とする大地震に見舞われ、年季の入った建物の倒壊を心配した。先生曰く、「2階だからそのまま動かない方が良い」と。無事だったのは、モルタルで分厚く塗り固められた壁のお陰だったのかもしれない。

ここで当会の名称について記しておこう。卒業間近になると学年同窓会の名称を決めるが、発想力抜群のS君が提案した名称があまりにも素晴らしく、満場一致で決定。卒業年の干支が辰年であること、笑って楽しい同窓会にしたいという願い、さらにはクラスを忘れないようにとの思いを込め、担任の先生方の頭文字を使った傑作である。(1組)遠藤来二先生、(2組)水戸部欣哉先生、(3組)高橋宗伸先生、(4組)堤睦水先生、(5組)河田利夫先生、(6組)市川宏先生、で頭文字をつなげると“えみたつかい”になるという代物である。

卒業後の活動は一致団結、山形と東京支部を中心に親交を重ねている。同窓会の当番幹事は、1回目は昭和55年に母校体育館で、2回目は平成14年にオーヌマホテルで開催。学年同窓会は、節目の歳に泊りがけで数回開催したが、高齢者の仲間入りを機に「健やかチャレンジの集い」を催し、これからの人生の歩み方を学んだ。また、山形では毎月、第三水曜日に懇談会を行っており、東京支部でも集いがある。話題は多種多様、楽しく語り合えるので、ボケ防止にはもってこいである。

喜寿を迎えた今、これからの人生は起き上がり小法師のように起き直ることが大事だと思う。この祝い事を、挑戦意欲をもっていろいろなことにチャレンジし、社会に積極的に関わり、自活していくための道標としたいものである。結びに、母校山形東高と山東同窓会の更なるご発展を心から祈念申し上げます。

(鈴木 恒雄 記)



健やか人生チャレンジの集い 平成25年 高松葉山温泉にて



おもな大学の合格状況

蒼朋会 (令和5年3月卒業)

大学入学共通テスト実施3年目を迎えた。本校における自己採点の結果(900点満点平均値)は、全国動向(業者推計)と同様、昨年度から約30点アップした。平均点の上昇がみられたとはいえ、今年度と昨年度の結果から判断するに、共通テストは「センター試験」時代に比べて全国的に高得点を得にくくなっていることは間違いない。「知識・技能」といった基礎・基本が重要であることは当然ながら、分量の多い文章や資料を迅速かつ的確に読み解き、「思考力・判断力・表現力」をはたらかせる「情報処理能力」がいっそう求められるようになった。これは、本校の不易の部分である、個別試験対策(記述力養成)と同じ方向性であり、「探究型」の「授業中心主義」が支えとなる。

さて、本校の合格概況を表に示す。東京大学は現役2名、過年度卒1名の合格であるが、東北地区全体としても厳しい結果であった。現役合格の1名は教養学部の学校推薦型選抜によるが、本校としては3年連続で推薦合格者が出ているこ

とになる。東北大学については現役49名(AOⅡ:9名、AOⅢ:10名、前期:29名、後期:1名)、過年度卒11名(AOⅢ:3名、前期:8名)と、昨年度(現役38名、過年度卒8名)をはるかに上回る結果であった。今年度もAOⅡの総合型選抜から一般入試までチャレンジし続けた現役生が多かった。関東地区からの流入により東北地区全体の東北大学合格者が減少している中で、本校だけでなく本県全体として合格者を大幅に増加させているのが今年度の特徴である。その他、難関国立大学では昨年に引き続き京都・一橋に現役合格、そして東京工業には現役・過年度卒ともに1名ずつの合格となっている。地元山形大学へは後期合格者(8名)を含む29名(昨年度22名)の合格である。

医学部医学科の延べ合格者については、東北大学3名(AOⅡ:1名、前期:2名)、山形大学8名(推薦:4名、前期一般:3名、前期地域枠:1名)、東京医科歯科(後期)・慶應義塾・自治医科・東北医科薬科・国際医療福祉・岩手医科の各大学で1名ずつ、計17名となった。過年度卒についても健闘し、山形大学4名(前期一般:2名、前期地域枠:2名)や秋田大学(前期:1名)、自治医科等の私立大を合わせて12名を数える。

総じてみれば今年度も「山東大躍進」と言っていいたい。今後もこの勢いにご注目いただきたい。

令和4年度(蒼朋会) 大学合格者数(延人数) 単位:人 ※現役合格のみ

【国立大学】

大 学	人 数	
北 海 道	1	
北海道教育	1	
弘 前	1	
岩 手	1	
東 北	文	8
	教	3
	法	3
	経	8
	理	4
	医	3
	保	3
	歯	2
	工	11
	農	4
全	49	
秋 田	2	

大 学	人 数
山 形 医 全	8 / 29
宇 都 宮	2
群 馬	1
埼 玉	5
千 葉	4
東 京 文	2
お茶の水女子	1
電 気 通 信	1
東京医科歯科	1
東京学芸	2
東京工業	1
一 橋	1
横 浜 国 立	1
新 潟 潟	11
金 沢	4

大 学	人 数
信 州	1
京 都	2
大 阪	1
神 戸	1

【公立大学】

大 学	人 数
岩手県立	1
山形県立保健医療	1
高 崎 経 済	1
埼 玉 県 立	1
横 浜 市 立	2
長 岡 造 形	2
新 潟 県 立	3
都 留 文 科	1

【私立大学】

大 学	人 数
東 北 学 院	18
東 北 福 祉	5
東北医科薬科	3
東 北 文 教	1
青 山 学 院	5
学 習 院	1
自 治 医 科	1
慶 應 義 塾	6
上 智	4
中 央	10
津 田 塾	2
東 京 理 科	4
法 政	7
明 治	10
早 稲 田	7
同 志 社	2
そ の 他	72

【計】

大 学	人 数
国 立 大 学	127
公 立 大 学	12
私 立 大 学	156
(国公立医学科)	12
(私立医学科)	5
合 計	295

【文部科学省所管外】

大 学	人 数
防衛医科大学校	1

全大学の合格者数は山形東高校のホームページ (<http://www.yamagatahigashi-h.ed.jp>) の「進路指導」に掲載しておりますのでご覧ください。

体 育・ 文 化 活 動 総 況

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症防止対策のガイドラインに基づき、様々な制約がある中での活動となりましたが、各種大会への出場はもちろん、遠征や対外試合も再開できるようになり、各部が活動内容に工夫を凝らしながら強化に努めてまいりました。多くの部が、目標とする全国大会や全国規模のコンクール、その予選を兼ねた県レベルの大会・コンクールにおいて、日頃の取り組みの成果を存分に発揮し、素晴らしい成績を残しております。中でも全国大会レベルの活躍として、運動部においては、フェンシング部が昨年度に続きインターハイと全国選抜大会へ出場を果たすとともに、陸上競技部からもインターハイ選手を輩出しております。文化部においては、文芸部が俳句甲子園で全国第3位という快挙を達成したことを筆頭に、放送部、囲碁将棋部、

探究部科学部門などが全国大会で堂々と活動の成果を発揮してくれました。また全国大会には届きませんでしたが、県で上位入賞を果たし、個人あるいは団体で東北大会に出場した部が多数あったことは、今年度の特筆すべき結果となっております。

今後も県内における新型コロナウイルス感染症の変動が活動に影響を与える可能性はありますが、与えられた条件を前向きにとらえ、その条件を最大限有効に生かせる練習環境や練習内容を工夫する対応力こそが本校生の強みと言えるよう、活動を続けていきたいと思います。数々の輝かしい歴史を刻んできた山形東高校の部活動の伝統を、これからも継承できるよう精進していきたく思いますので、今後とも同窓会の皆様のご支援をよろしく願いいたします。

令和4年度 松田杯等四賞

《松田杯》フェンシング部

県高校総合体育大会
男子学校対抗 優勝 (インターハイ出場)
東北高校フェンシング選手権
男子学校対抗 第3位

《鈴木杯》庄司 圭佑 (フェンシング部)

県高校総体 男子個人対抗 フルルーレ 優勝 (インターハイ出場)
サーブル 優勝 (インターハイ出場)
東北選手権 男子個人対抗 サーブル 第3位
全国高校総体 (インターハイ) 男子個人対抗 サーブル ベスト16
フルルーレ 出場



松田杯



矢野牌

《矢野牌》文芸部

第25回「俳句甲子園(全国高等学校俳句選手権大会)」全国大会 団体第3位
全国高文連北海道・東北文芸大会 出場
第21回山形県高校文芸コンクール 文芸部誌部門 優秀賞
県高総文祭 文芸部誌部門 県高文連賞(県2位)
第36回全国高等学校文芸コンクール 文芸部誌部門 奨励賞
《駒草杯》松本 望 (囲碁将棋部・将棋班)
第44回山形県高等学校将棋選手権大会
男子個人 第1位(全国総文祭出場)
第35回全国高校将棋竜王戦山形県大会 第2位
第46回全国高等学校総合文化祭東京大会
男子個人 予選通過(3勝1敗)
決勝トーナメント 出場

同窓会特別賞

- 《中村賞》 大沼 俊介
《木村賞》 庄司 圭佑
《探究賞》 叶内 愛莉
《山形東高同窓会賞》 渡根 陸心
《山形中学校東高東京同窓会賞》 渡辺 莉帆
《山形東高等学校仙台同窓会賞》 星 直希

体育部

令和4年度の各部の主な成績をご報告申し上げます。今後とも同窓会の皆様のご支援をお願い致します。

【剣道】

◎東北大会
女子団体
女子個人 中田 美伶

【水泳】

◎東北大会
1500M自由形 吉田 達哉
400M自由形 吉田 達哉
100M自由形 國井 優大
200M自由形 第5位 國井 優大
男子4×100Mフリーリレー
男子4×100Mメドレーリレー
女子4×100Mフリーリレー
女子4×100Mメドレーリレー
◎東北新人大会
100M自由形 第7位 國井 優大
200M自由形 第5位 國井 優大

【陸上競技】

◎東北高校陸上
男子110mH 第5位 中村 亮太
男子走高跳 富樫 大生
◎全国高校総体
男子110mH 中村 亮太
◎東北新人大会
男子800m 岡崎 公洋
男子走高跳 富樫 大生
女子1500m 小輪瀬明希
女子3000m 小輪瀬明希
◎東北総合体育大会陸上競技
女子1500m 第6位 小輪瀬明希
◎第37回東日本女子駅伝競走大会
【弓道】
◎東北大会出場 女子団体

【フェンシング】

◎全国高校総体
男子団体
男子個人フルルーレ 庄司 圭佑
男子個人サーブル 庄司 圭佑
女子個人フルルーレ 荒木瑠理華
女子個人サーブル 荒木瑠理華
◎全国選抜大会
女子団体サーブル

【卓球】

◎男子学校対抗東北選抜
【女子ハンドボール】
◎東北高校選手権大会
◎東北高校選抜大会 出場

文化部

【文芸】

◎第25回俳句甲子園(全国高等学校俳句選手権大会)全国大会
団体 第3位
個人入選 渡辺 悠月

【探究(化学)】

◎第46回全国高等学校総合文化祭
自然科学部門 研究発表の部(化学部門;口頭発表)
◎令和4年度 化学系学協会東北大会 ポスター発表 2件
木島 沙椰・上野 理生・高橋真日路
優秀ポスター賞(化学教育の部) 木島 沙椰
◎第20回 高校生・高専生科学技術チャレンジ(JSEC2022)
敢闘賞 木島 沙椰・上野 理生(全国大会入賞)

【囲碁将棋】

◎第46回全国高校総合文化祭 将棋部門
男子個人 松本 望・奥山 健信
女子個人 上野 理生
◎第23回東北高等学校新人将棋大会
奥山 健信・上野 理生・高橋 崋
◎第31回全国高等学校新人将棋大会 奥山 健信・上野 理生

【放送】

◎第69回NHK杯全国高校放送コンテスト
【アナウンス部門】 入選 村田 明穂
【朗読部門】 榎 瑞穂・佐藤 優奈

【ラジオドキュメント部門】「△□」
【ラジオドラマ部門】「仮面」
【テレビドキュメント部門】「ずっと前から危機でした」
【テレビドラマ部門】「足りないもの」

◎第46回全国高等学校総合文化祭

【アナウンス部門】 村田 明穂
【ビデオメッセージ部門】「ぶりーずくえすと」
◎東北高校放送コンテスト新人大会
【アナウンス部門】 佐藤 煌河・庄司 希愛
【ラジオキャンペーン部門】「Waste」
【テレビキャンペーン部門】「White」「Why 東海林?」

【探究(地域国際班・その他)】

◎PDA即興型英語ディベート東北交流会 2022
【チーム賞】 第5位
【エキシビジョンディベーター賞】 奥山かんな
【ベストディベーター賞】
奥山かんな・佐藤 多恵・高橋真日路・押野 匠悟
【ベストPOI賞】 伊藤ほまれ・高橋真日路・押野 匠悟

【吹奏楽】

◎全日本吹奏楽コンクール東北大会 銀賞

【その他】

◎全国高等学校ビブリオバトル 五十嵐敦志

※紙面の都合上、東北大会以上の成績を掲載しています。
部活動成績の詳細は、山形東高校のホームページ (http://www.yamagatahigashi-h.ed.jp) の「山東通信」に掲載しておりますのでご覧ください。

創立140周年記念事業

正門復元建設及び周辺の環境整備事業

～ ほまれの歴史を語り継ぐ不朽の姿を 次世代へ ～

令和4年10月より募金受付中 ご協力どうぞよろしく申し上げます。

◆ 趣旨

来たる令和6年、母校創立140周年を迎えるにあたり、記念事業として母校のご要望を受け、正門と周辺の環境整備事業を実施することにしました。

現在の正門は、明治26(1893)年に現在地に校舎が新築された時に建設され、2度の大火にも耐えた、山形中学草創期をしのぶ唯一の遺構であり、母校の象徴として愛されてきましたが、130年余り経過し欠損など劣化が目立ち、保全が急務となっています。対処方法について安全性、対費用効果などを総合的に検討した結果、正門は当時のままに復元建設し、現在の正門は歴史的価値を伝えるモニュメントとして移設保存することが望ましいと判断しました。ほまれの歴史を語り継ぐ母校の正門を、次代へとつなぐ事業にご協力どうぞよろしく申し上げます。

◆ 事業内容

正門の復元建設及び周辺の環境整備

① 正門建設工事

門柱及び柵は現在のデザインを活かして新設

② 周辺整備工事

全面アスファルト舗装

排水設備・LED照明灯の再設置

③ 植栽・モニュメント工事

「千歳園」史跡碑が建つ前庭の縁石・植栽樹の整備

現正門モニュメントの移設保存

◆ 予算額

総額 3,500万円

正門建設・周辺整備工事費 3,000万円

測量・設計費 58万円

正門建設工事費 1,184万円

舗装・植栽樹設置工事費等 1,685万円

モニュメント設置工事費 73万円

募集経費 500万円

◆ 募金計画

① 目標額

3,500万円 【内訳】 同窓生寄附 3,000万円

篤志寄附 500万円

※現在の納入状況、各学年の目標額の詳細は『維持会費納入状況報告』の巻末をご覧ください。

② 募集期間

令和4年10月1日～令和5年9月30日

③ 税法上の取り扱い

寄附金控除の対象

※個人は所得控除、法人は損金算入

④ お願いと振込先

1口5,000円 できるだけ2口以上のご協力を

【振込先】 ゆうちょ銀行

口座番号 02290-7-129450

口座名義 山形東高創立140周年記念事業実行委員会



正柱と側柱からなる正門



かつての美しい柱頭



劣化・芯ずれの発生した現在の姿



樹勢で変形した列柵



明治26(1893)年 現在地に校舎・正門建設

◆ 事業推進状況

令和4年

- 4月20日 **会報第74号発行**
正門の歴史特集を紹介
- 5月9日 **準備委員会**
- 6月10日 **創立140周年記念事業実行委員会設立総会**
於：ホテルメトロポリタン山形
実行委員会設立、記念事業計画・予算を決定
記念事業の成功に向けて結束を深めた
- 9月6日 **寄附金控除の認可**
- 9月8日 **採石場の見学会** 於：高島町阿久津
現正門の山寺石は採掘中止のため同じ奥羽山
系凝灰岩の高島石を求めて採掘現場を見学



実行委員会設立総会



採石場で説明を聞く

- 9月28日 **U40評議員の集い** 於：母校
若手評議員の募金活動をサポート

- 10月1日 **募金活動・趣意書発送開始**
- 10月15日 **同窓会総会**

於：ホテルメトロポリタン山形
記念事業計画を説明

- 11月8日 **原石搬出作業**
於：高島町阿久津



U40の集い

令和5年

- 2月9日 **第1回常任委員会** 於：ホテルキャッスル
記念事業・募金の経過報告、施工業者の選定
モニュメント工事に結城豊太郎(蔵相)揮毫
の国旗掲揚台の補修復元工事を追加決定



原石に楔を打ち搬出にとりかかる

東の風

音の背景

国際音楽コンクール
(ヴァイオリン) 第1位 **本間 光**

私は14年間ヴァイオリンを続けています。10年間山形から仙台へ、近年は東京へもレッスンへに通い文武両道に励む中で、これまで多くの素敵な出会いや経験をさせていただきました。

幼少期より世界的ヴァイオリニストや東京藝術大学教授などによる5つの公開レッスンを受講し、その場で瞬時にアドバイスを理解し表現する修得力を身につけてきました。高校時代には、セシリア国際音楽コンクールや大阪国際音楽コンクールに挑戦し、部門最高位、第1位を受賞させていただくことができました。また、仙台フィルハーモニー管弦楽団のメンバーの方々と3度目のコンチェルト共演、東高同窓会総会での演奏の機会もいただきました。

その中でも特に、私の考え方が大きく変化した出来事がありました。それは、3年次に音楽学校生以外の受講生に唯一選考合格し、受講した仙台国際音楽コンクール関連事業「審査委員によるマスタークラス」です。私はジュリアード音楽院教授ジョエル・スミルノフ氏よりご指導いただきました。受講曲には、独特のスペインのフラメンコを基調としたリズムが用いられていました。レッスンでは、実際の踊りを見て学ぶことや作曲家の出身地であるフランスとスペインの関係性を調べ、自らアクターとなってそれらを音色や体全体で表現することの大切さを教えていただきました。表面的な知識だけではなく、物事を取り巻く文化や習慣、歴史などあらゆる背景を知ることによって音に深みが出ることを学び、私はあらゆる学問を学ぶ必要性に気づかされました。

そのため大学進学後は、音楽のみならず法学を始めとする様々な学問を修得し、多角的な視点を身につけていきたいと考えています。その上で将来は、海外へも視野を広げ世界を舞台に活躍し、私らしい音や人生を奏で続けていきたいです。



ジュリアード音楽院教授
ジョエル・スミルノフ氏による公開レッスン

各同窓会だより

(順不同)

◇東京同窓会

山中・山東 東京同窓会は、1950年(昭和25年)創立以来、73年に及び、多くの先輩方の努力を引き継ぎながら、母校山東の隆盛と当会会員の交流・親睦を図ることを旨とし活動を継続して参りました。終わらないコロナ禍3年目を迎えながらも、本年度の当会の活動としては、5月に当会会報誌80号3千部を発行・配送。7月に当会総会・懇談会のリアル開催。9月の山形県人会連合会総会への参加。11月にはホテル椿山荘東京において、昨年に引き続き首都圏における山形関連の高校同窓会系で唯一の懇親会開催を決行。110名に及ぶ会員の参加を頂き、また同ホテルの特別のはからいで秋の山形の味覚を手配頂き大いに盛り上がりました。コロナ禍の新交流企画として、当会学生の就活支援の一環として、7月から12月まで月1回のペースで、「山東キャリア探究塾」を開講(全5回)、各界先輩会員による就職活動を控えた学生向けにゼミナール形式のフルリモートセミナーでアドバイスを行う企画を実施致しました。下記の写真は椿山荘での当会懇親会の集合写真です。詳しくは、当会会報誌81号(本年5月発行)や<http://uzen33.net>「山形東高東京同窓会」をご覧ください。(会長 鈴木 達 記)



◇関西山中・山東同窓会

令和4年10月30日(日)新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け3年ぶりに総会・懇親会を開催しました。コロナ禍を考慮し残念ながら山形からのご来賓は自粛いただきましたが、山形県大阪事務所の高橋所長をお迎えし同窓生13名と共に大阪城が正面に見える「KKRホテル大阪」にて執り行いました。総会では新会長に就任した杉沼会長(S43卒)の挨拶及び新役員を紹介を行いました。また、前会長の菱川氏(S41卒)が長年の同窓会活動を認められ、「功労者表彰」を授与されましたことを報告しました。懇親会では、母校の須貝校長先生から新たに探究科が設置され「山東探究塾」と銘打った探究学習がスタートしたことや「山東探究塾サポーターズクラブ」への指導助言の協力依頼のメッセージを紹介しました。初参加の方も自己紹介のあと他の皆さんの学生時代の話や近況に耳を傾け、山形の地酒やワインを堪能しながら、久しぶりに全員で楽しい時間を共有することが出来ました。コロナ禍を心配され今回出席を見合わせた方々も含め、次回の再会を誓いながら盛会のうちにお開きとなりました。(幹事長 佐藤 吉広 記)



◇東海同窓会

新型コロナウイルス対策のため2年間中止していた同窓会総会を、令和4年11月19日にサイプレスガーデンホテル名古屋にて開催しました。



母県からは須貝英彦校長先生、高橋一夫同窓会会長にもご参加いただき、総勢16名と慎まじやかながらも和気あいあいとした楽しい時間を過ごすことが出来ました。

高橋同総会長からは創立140周年記念事業について、須貝校長からは現在の学校の様子を、それぞれ20分を超える持ち時間をしっかり使っていただいでご説明いただきました。長い歴史を経てなお現在も変わらぬ勢いの様子を聞き、母校の益々の発展を願うとともに、現役生徒たちの活躍を応援していきたいと思ひます。

懇親会では一人ひとり恒例の近況報告を行いました。皆様ご高齢にもかかわらず、さすがのスピーチ力で大いに場を盛り上げてくださいました。皆様実に達者ですね。

個人的には、二次会にて名古屋名物の手羽先の食べ方を須貝校長先生に指南できたことを大変光栄に感じます。

3年ぶりの開催でしたが、次回も元気な姿で集まれることを切に願ひます。(事務局 佐藤 義晃 記)

◇酒田山東会

3年ぶりの開催となった、令和4年度の酒田山東会総会は、10月21日に開催されました。今回は母校から校長先生や同窓会長はお呼びせず、人数も少なめで、こぢんまりとした会になりました。さらに残念なことには、校歌斉唱も「おゝ勝利」もありませんでしたが、それでも久しぶりの再会に、いろいろな懐かしい話が飛び出し、とても楽しい時間を過ごすことができました。人数が少ない分、自己紹介は長めに話すことができたのは、ちょっとうれしい誤算でした。酒田・遊佐の他にも、鶴岡から1名、三川からも1名が参加してくれました。8・9月のコロナの爆発的流行により、幹事長が鬼のように忙しく、案内を出すのが遅れてしまい、大変申し訳なく思っています。来年はぜひコロナが収束に向かい、にぎやかな酒田山東会を開催できるように願っています。



(幹事長 岡田 恒弘 記)

◇体育部OB会

令和5年2月2日、ソフトテニス部と卓球部が当番幹事となり、3年ぶりに体育部OB会総会・懇親会が山形グランドホテルにおいて開催されました。時節柄、例年通りの開催とはなりませんでしたが、各部の代表や功労賞受賞者、学校関係者合わせて約70名の方々にご出席いただきました。森谷寛会長(卓球部 山東17回卒)の挨拶ののち、慣例により会長が座長となって総会が進行され、各議案とも異議なく承認されました。



総会に引き続き、同会場にて懇親会を開催、懇親会では、OB会から須貝校長先生へ強化費の贈呈が行われ、校長先生から現役生の活動に

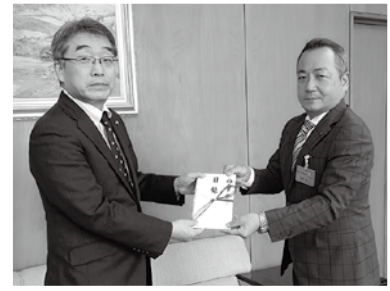
についてご報告いただきました。また、功労賞の表彰も行われ、OB会に対し功労のあった15名の受賞者を代表し、門間徹先輩(野球部 山東19回)に、森谷会長より賞状と記念品が手渡されました。その後、ソフトテニス部OB会会長栗原清彦先輩の音頭で乾杯となり、前日からお酌が解禁されたこともあって、それぞれ大いに懇親を深め、卓球部OB会会長高橋清真先輩(山東37回)の万歳三唱でお開きとなりました。

(卓球部OB 高橋 大 記)

充実を続ける『桐野文庫』

桐野文庫の蔵書は、いつの時代も読書意欲を掻き立て、知識の源となって生徒たちを支えてきました。インターネットにより情報が手に入りやすくなりましたが、読書により得られる喜びはそれらに優ります。生徒たちに多くの本を読んでもらい、新たな感動を得てもらうには、「読みたい本がある」「必要な本がある」図書館であり続けることが求められます。これはなかなか大変なことです。必要なことはただ一つ、蔵書を充実させることです。毎年、山形県庁東高会様と山形市役所東高会様より、図書購入のためのご寄付をいただいております。本当にありがとうございます。高価な本、専門性の高い本、シリーズものを一式まとめて購入する場合など、主に普段購入が難しい本に使わせていただいております。充実した新規購入となるよう、購入希望図書アンケートを実施し、生徒たちだけでなく、先生方からのご要望も把握した上で、蔵書充実のための良書を精選して購入しております。また今年度は、創立記念式典でご講演いただいた元防衛事務次官、黒江哲郎先輩の著書『防衛事務次官冷や汗日記 失敗だらけの役人人生』を20冊、東京同窓会様からご寄贈いただきました。生徒に進呈してほしいとのことでしたので希望者を募集したところ、50名以上の生徒から申し込みがあり、抽選が必要となるほどでした。本を手にした生徒たちが非常に喜んでおりましたことをご報告させていただきます。今後もより一層桐野文庫の充実に努めてまいりますので、変わらぬご支援をいただければ幸いです。

図書課長 工藤 淳(継世会)



市役所東高会より寄付贈呈



購入図書紹介コーナー

山東探究塾サポーターズクラブ

本校では平成30年度の探究科設置と同時に山東生全員が、探究型学習及び『山東探究塾』と称する総合的な探究の時間で、課題解決型の探究活動に取り組んでいます。その教育プログラムでは、より実践的・体験的な学びが重視されるため、地域人材をはじめ、各専門分野の方々のご指導助言や協力、協働が不可欠です。特に2年次生は、各々の進路や興味関心、適性等に合わせたテーマを設定するため、毎年様々な分野に渡る研究が100本程揃います。令和元～3年度までは文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業【グローバル型】」の指定を受け、地域の大学や研究機関、行政や企業等と連携しながら、多くの方々に関わっていただきましたが、さらにご協力いただける方々を増やしたいと、令和4年度より校長の発案で「山東探究塾サポーターズクラブ」を立ち上げ、登録の呼びかけを行っています。

2月末現在で40名もの登録をいただき、専門分野に合わせて、生徒たちの課題研究や探究活動にご協力をいただいております。さらに、プレ・中間・成果発表会の機会には、直接またはオンライン等で指導・助言・評価をいただいております。本当にありがとうございます。

現生徒たちは、高校生のうちに、身の周りの課題や今日的なグローバル課題について関心を持ちながら、大学や実社会の専門分野の知識や研究成果・実践事例に触れながら学ぶ機会が多くなりました。また、山東生が地域に出て活躍の様子がメディア等に取り上げられ、注目されるようになりました。

同窓生の皆様は、各方面でご活躍されている方が多く、会報や地域同窓会の機会等にお声がけさせていただいておりますが、学校からも定期的に探究活動の情報提供させていただきたいと存じますので、ぜひサポーターズクラブへのご登録をお願い申し上げます。

教頭 森 美千子(東龍会)



山形ハッカプロジェクトメンバー
(モンテディオ山形の試合でのイベントブース)

創立138周年記念式典記念講演

『安全保障を考える』
～防衛省勤務の経験から～三井住友海上火災保険株式会社顧問
(元防衛事務次官)

黒江 哲郎 氏



講師プロフィール

1958年 南陽市生まれ
1976年 山形東高卒業
山東26回・互一会
1981年 東京大学法学部卒業
1981年 防衛庁(当時)入庁
大臣官房審議官、防衛政策局長、
運用企画局長、大臣官房長、
防衛政策局長、防衛事務次官を歴任

2018年より現職

著書：『防衛事務次官冷や汗日記 失敗だらけの役人人生』

1 はじめに

卒業してから40年以上経ち、創立記念式の日母校に戻り、今日初めて入った講堂で校歌を歌い、感動で涙が出た。

1973(昭和48)年入学、1976(昭和51)年卒業の互一会。自我が解放され人格形成に大きな影響があった3年間だった。修学旅行がないのは残念だったが、65分授業は性に合った。日野顕正先生をはじめ先生方にはお世話になり、入試で数学は失敗したが、山東の先生方の教育のおかげで東京大学に合格できた。

公益に結びつくような仕事がしたいと思い、法学の世界に進んだ。防衛省を選んだのは、戦中派で戦争の体験を伝えてくれた両親の影響がある。中学生の時に、広島平和記念資料館の巡回展示があり、母親に連れて行かれて衝撃を受け、戦争はやってはいけないと強く思った。防衛庁(当時)に入った時には父に大反対されて勘当されたが、40年近く勤務して、今は悔いのない役人人生だったと感じている。

2 国際環境が大きく変化中での防衛省勤務

(1)全般 1981～2017年 防衛庁(2007年～防衛省)勤務

節目はまず1989年。ベルリンの壁崩壊、冷戦の終結は、画期的だった。日本では昭和天皇が崩御され、元号が平成に改まった。2000年にロシアでプーチン大統領が就任し、2001年に9.11米国同時多発テロが起こったのが次の節目。世界貿易センタービルが崩れていく中継映像を見て衝撃を受け、世界が変わってしまったと感じた。三つ目が2012年。北朝鮮で金正恩国防第一委員長、中国で習近平総書記がそれぞれ就任して権威主義国の勢いが増し、現在のウクライナ侵攻に至る流れが出てきた。

防衛省の仕事は、国際情勢を分析して安全保障政策を立案し、自衛隊の能力を構築し、自衛隊を動かして事態に対応すること。同盟国のアメリカや同志国のオーストラリア・韓国などの政策協議、ロシアや中国などの脅威対象国の国防当局との話し合いによる意思疎通、信頼関係の醸成も必要となる。

(2)ソ連からロシアへの変化

ソ連は、アフガニスタン侵攻(1979)や大韓航空機撃墜事件(1987)を引き起こし、「悪の帝国」そのものだった。しかし同時に、民間機である大韓機の撃墜や沖縄上空領空侵犯(1987)等のミスは、ソ連軍の練度が低下しているのではないかの疑問も感じさせた。ベルリンの壁が崩壊した時、ソ連のゴルバチョフ書記長は何もしなかった。以前であれば軍隊を出して抑圧していたかも知れないが、この頃ソ連は経済的に疲弊して介入する余裕がなかった。ソ連の解体(1991)後、我が国も信頼醸成のためロシア軍と行き来するようになり、軍の民主化も進んだと感じたが、後になって思い込みだったとわかった。2000年にプーチン大統領が就任しロシアの立て直しが進められたが、米国同時多発テロ事件の後には国際テロへの対応が国際社会の最優先課題になり、ロシアは忘れ去られていた。その間プーチンはカラー革命に警戒を募らせ、2014年のクリミア併合、現在のウクライナ侵略を引き起こした。歴史や体制が変わっても帝政ロシア時代からの自己認識は変わらず、強いロシアとして統一を果たすという露骨な大国意識が表れている。

(3)瀬戸際政策を繰り返す北朝鮮

北朝鮮には冷戦終結がどう見えたのか。ソ連が頼りにならないので自らの安全を核兵器に委ねたのだと思われる。1993年のNPT(核兵器不拡散条約)脱退宣言以後、嘘と挑発を繰り返し、譲歩すると見せかけて時間を稼ぎ、核・ミサイル開発を進めてきた。日本は弾道ミサイル防衛システムを整備し、米軍と連携して警戒に当たっているが、ミサイルの飛距離も性能も向上し迎撃しづらくなってきた。日本はアメリカの核の傘で守られている(拡大抑止)が、日本に核を撃ち込むと米国が撃ち返すという構図を見せて北朝鮮をその気にさせないことが重要である。

(4)最も手ごわい競争相手の出現…中国

中国は、ソ連・東欧の体制が民主化により変わってしまった事から教訓を得て、天安門事件(1989)で民主化運動を弾圧し、監視管理社会を作ってきた。現在中国はGDP世界第2位だが、200年前の1820年には世界一だったという推計がある。清朝末期と毛沢東のどんでもない失政により停滞したが、潜在力を発揮して復活した。天安門事件の後、中国は鄧小平の「韜光養晦(とうこうようかい)」「(爪を隠して能力を蓄える)戦略により、経済成長を優先するため有和的な外交を行い、国際社会に脅威感を抱かせなかった。一方で、2000年に山形市で講演した際に、中国海軍の海洋調査船が日本を1周して海温・地形などを調査していることを紹介した記憶がある。既にこの頃から中国は潜水艦の活動拡大を狙っていたのだと思う。経済成長とともに毎年10%以上のペースで軍事費を拡大し、今や中国の最新鋭兵器は日本よりはるかに数が多くなった。2012年に習近平体制が誕生すると、中国の外交路線は明らかに変わり、力を隠さなくなった。2013年には海上自衛隊の艦艇に中国軍艦艇がFCS(Fire Control System)レーダーを照射する(武器の照準を合わせる)事件が起こった。南シナ海では、沿岸国が弱いとみて7つのサンゴ礁を一方的に埋め立てて軍事基地を作った。最近では台湾への圧力を強めている。中国はウクライナ侵攻から教訓を学んでいるはずだが、ペロシ米下院議長の台湾訪問(2022)の際には周辺海域にミサイルを撃ち込んだ。日本はどう対応すれば良いのだろうか。

3 今後の日本の安全保障を考える

(1)秩序を守る側の変調

本来秩序を守る側の国連安全保障理事会の常任理事国(すべて核保有国)メンバーのロシアと中国が、自ら国際秩序に挑戦している。これでは国連は機能発揮できない。NPT体制も崩れかけている。核保有国が核で恫喝しているのでは、やはり核がないと守れないと考える国が増え、核拡散を助長しかねない。さらに、戦後の国際秩序を実質的に支えてきたのは米国の軍事力だが、イラク戦争とアフガン戦争で疲弊した米国では、他国の事より自国の内政を重視する傾向が強まっている。

(2)自らの努力で国を守る

これほど展望がなく暗い時代は、ここ40年間で初めてである。だからこそ、国力向上のため産業を活性化し国際競争力を高め、防衛力に投資して抑止力を強化することが必要である。脅威となっている3か国は引越してくれない。攻撃したらただでは済まないという姿勢を見せないと相手はなめてくる。破局に向かわないための粘り強い外交努力も重要である。各国が真剣にウクライナを支援しているのは、ウクライナ自身が自国を守ろうと努力しているからである。

(3)助けを得る/味方を増やす

最後に明るいことも伝えたい。自衛隊は海外で様々な支援活動を行っているが、多くの国々で好かれている。単に施しをするだけでなく、地元の人々が自力で困難を克服できるように手助けするからである。これはODA(政府開発援助)も同じである。本当に相手国のためになるように手助けするのは、日本人の美德・特性だと思う。膨大な時間はかかるが、こうした日本人の価値観を世界で共有出来たら、国際関係は今よりもギスギスしなくなるはず。防衛省では情勢をリアリスティックに見なさいと言われ続けてきたが、この点だけは夢を見たと思う。

4 おわりに

結城豊太郎先生の「奉公旗」が紹介されたが、「国」や「公益」のために頑張るということ、「社会」や「他者」に置き換えても良いと思う。皆さんには、本当に他人のことを思いやる、人のためになるということを考えてほしいと思う。

第73回卒業会名

蒼 朋 会

雲外蒼天

未曾有の災禍と共にこの学び舎に入学した私たちは、日常の脆さを目の当たりにした。大きく変容する世界の中で、しかし私たちが手にしたのは新たな形の学びであり、かけがえのない友であった。日常はいとも簡単に崩れ去る。それでも、叡智を磨き合い数多の苦難を乗り越えてきた私たちなら未来を切り拓くことができる。激動の時代の中、朋友と手を携え、平和な世界の形成者として意気高く蒼天に雄飛せんとする私たちの前途を祈念し、「蒼朋会」と命名する。(原案 庄司 圭佑)



同窓会入会式の様子

令和5年度

ホームカミングデー 「30歳になったら東高に帰ろう」



◆令和4年度ホームカミングデーに参加して
山東60回 六黎会 阿部 龍海

勢翔会(平成23年卒業・山東61回)のみなさんへ

30歳という峠に立った今 母校に帰って
恩師や仲間と楽しい再会のひと時を過ごしてみませんか
みなさんの参加をお待ちしています

- ◆ 日 時：令和5年8月26日(土)
山東祭の一般公開日/午後3時より
- ◆ 会 場：山東会館食堂
- ◆ 内 容：若手学年支援費の贈呈・近況報告・懇談
- ◆ 申 込：8月16日(水)まで同窓会事務局へ

六黎会25名と恩師の皆様にご参加いただき非常に盛況な会となりました。30歳の節目に友人・恩師との久しぶりの再会を喜び、在学時の思い出や近況を語り合う中で刺激を受け、楽しいひと時をすごせました。また、コロナ禍でやむを得ず参加辞退された方も多数おり、改めて六黎会として集まる機会を設けたいと思うきっかけにもなりました。ホームカミングデーを開催し、ご多用の中ご参加いただきました恩師・事務局の皆様、誠にありがとうございました。

知音ふあいる

若手会員のプロフィール紹介

中山 珠美(平成21年卒業・結昇会)

変化の時代を私らしく生きる

小学校の教諭として勤めて早10年となりました。今まで3回異動をしましたが、同じ山形県内といえど各学校地域ごとの特色があり、その地域独自の文化を肌で感じることができました。授業を子どもたちに教える中では、1日たりとも同じ日はなく、日々の子どもの成長にいつも驚かされてきました。現在は担任としてではなく、外国語の専科教員として、日々学びながらより良い教育ができるよう努める日々を送っています。ここまで仕事を続けて来て今思うことは、時代の変化のスピードがとても速いということです。

私の高校時代を思い出しますと、暗記中心の学習で、ひたすら問題を解く日々でした。朝一番の電車で学校へ行き、自習室へ向かうと必ず誰かがいて、問題を解いている。静かな部屋でカリカリと走るシャーペンの音が今でも思い出されます。仲間と出会い共に目標に向かい努力した日々は、今でも私の大切な宝物です。

時代は変わり、平成から令和へ。暗記だけでなく、学んだ知識をどう活かすのか、使う力が問われる時代へと変化しています。ICTの活用や、今や一人一台のタブレットは当たり前、それをどう使い今の授業に活かすのか教師の腕の見せ所です。教える側にとっても教わる側にとっても変わりゆく時代をどう進んでいくのかが問われているように思います。

「強い者、賢い者が生き残るのではない。変化できるものが生き残るのだ。」というダーウィンの言葉があります。もちろん時代を超えて大切なこともたくさんありますが、時に自分の考え方を振り返り、謙虚に学びながら、自分の良さを活かして豊かな人生を歩んでいきたいです。





お悔やみ

同窓会報74号掲載以降～令和5年3月31日までに判明した方々です 謹んでご冥福をお祈りいたします

- 平成29年 8月5日 森谷 聖 様 (山中62回)
平成31年 1月20日 浅沼 昌之 様 (山高2回)
令和元年 IKUKO(川合) BURNS様 (山東4回西)
5月14日 高橋 潔 様 (旧職員)
5月20日 船越 善之 様 (山東15回)
令和3年 5月1日 鈴木 直 様 (山東2回)
5月12日 伊藤 泰三 様 (山東4回)
6月16日 松浦 相原 様 (一高2回)
6月16日 相原 章人 様 (山東31回)
6月23日 細谷 良夫 様 (山東4回)
11月2日 五十嵐 章二 様 (山東3回)
11月6日 塚(寺山)智子 様 (山東1回西)
11月11日 柴田 孝夫 様 (山東2回)
11月21日 萩原 晃 様 (山東6回)
11月28日 渡辺 明重 様 (山東2回)
12月9日 古川(水戸部)謹吾 様 (山中57回)
12月12日 佐藤 進 様 (山東5回)
12月22日 佐藤 憲助 様 (山東8回)
12月28日 尾形 正二 様 (一高2回)
令和4年 1月3日 田口 一夫 様 (山中60回)
1月5日 石川(小山)明子 様 (山東2回)
1月7日 森谷 公雄 様 (山中57回)
1月11日 長野 行雄 様 (山東14回)
2月12日 岸 徹智 様 (山東2回)
3月5日 須藤 敏 様 (山東2回)
3月14日 宮本(鈴木)峰子 様 (山東12回)
3月17日 佐藤 忠宏 様 (一高2回)
3月28日 奥山 敏彦 様 (山東4回)
3月31日 須藤 敏彦 様 (山東24回)
4月7日 矢作 榮 様 (山中61回)
4月7日 小鷹 敏己 様 (山東6回)
4月13日 石山 敏己 様 (山中60回)
4月17日 鈴木 成成 様 (山東8回)
4月17日 庄司 忠史 様 (山東11回)
4月17日 赤間 謙 様 (山東14回)
4月21日 佐藤 博嗣 様 (山東8回)
4月22日 小松 重徳 様 (山東19回)
4月22日 五十嵐 敏夫 様 (山東1回)
4月30日 石垣 孝次 様 (山東7回)
5月3日 志藤 義明 様 (山東9回)
5月6日 志田 吉 様 (山東1回)
5月6日 石川 晋隆 様 (山東16回)
5月11日 阿部 隆宏 様 (山東10回)
5月12日 齊藤 宏 様 (山東5回)
5月16日 野村 照彦 様 (山東3回)
5月16日 佐田 久八 様 (山東21回)

- 5月19日 中村 淳 様 (山東25回)
5月21日 佐藤 俊 様 (一高1回)
5月27日 小関 信也 様 (山東5回)
5月29日 賀田 博吉 様 (山東10回)
5月 志田 吉雄 様 (山東1回)
6月1日 市村 信也 様 (山東10回)
6月2日 新藤 允信 様 (山東7回)
6月4日 新藤 剛夫 様 (山東5回)
6月6日 伊藤 英昭 様 (山東3回)
6月10日 薄田 昭正 様 (山中58回)
6月11日 薄田 昭正 様 (山東6回)
6月13日 斎藤 正吉 様 (旧職員)
6月13日 坂井 信好 様 (山東7回)
6月14日 山口 信好 様 (山東4回)
6月18日 作田 久尚 様 (山東7回)
6月18日 武田 清一郎 様 (山東8回)
6月19日 深川 祐吉 様 (山東8回)
6月23日 関(遠藤)登喜子 様 (山東2回西)
6月24日 川崎(吉田)宗博 様 (山東9回)
6月27日 菅野 邦明 様 (山東12回)
6月30日 佐藤(近藤)善男 様 (山東1回)
7月2日 菅野 節夫 様 (山東1回)
7月6日 松田 直秀 様 (山中61回)
7月6日 佐竹 良一 様 (山東4回)
7月12日 相原(佐藤)宣子 様 (山東1回西)
7月18日 伊藤 博 様 (山中58回)
7月22日 渡邊 正三 様 (山東28回・旧職員)
7月24日 齋藤 すみ子 様 (一高2回)
7月26日 遠藤 来二 様 (山中54回・元校長)
7月26日 高橋 樹 様 (山東19回)
7月29日 清水 彬 様 (山東10回)
8月1日 山本 恒雄 様 (一高2回)
8月1日 鈴木 孝哉 様 (山東7回)
8月2日 島貫 勝男 様 (一高2回)
8月5日 斎藤 保男 様 (山東6回)
8月6日 高橋 邦夫 様 (山東10回)
8月11日 矢野 満 様 (山東6回)
8月18日 森谷 文一 様 (山東23回)
8月21日 鈴木 一平 様 (山東17回)
8月26日 藤澤 祥 様 (山東1回)
8月29日 阿部 廣介 様 (山中57回)
8月29日 石川 浩通 様 (一高2回)
8月31日 登那木(横倉)礼子 様 (山東3回西)
9月5日 高嶋 哲夫 様 (山東4回)
9月10日 鈴木 禮三 様 (山中59回)
9月11日 鈴木 久三 様 (山東10回)
9月21日 高原 幹 様 (山東8回)

- 9月25日 加藤 實 様 (山東4回)
9月27日 丸森 英一 様 (山東17回)
9月28日 鴨田 一紀 様 (山東63回)
9月29日 庄司 清裕 様 (山中60回)
9月29日 細梅 久明 様 (山東11回)
9月30日 堀野(神保)百合子 様 (山東2回西)
10月1日 佐藤 雅俊 様 (山東15回)
10月2日 五十嵐 宏三 様 (山東15回)
10月3日 小関 美子 様 (山東3回西)
10月5日 鈴木 洋一 様 (山東8回)
10月7日 管 武夫 様 (山東7回)
10月15日 五十嵐 和夫 様 (山中58回)
10月15日 渡辺 光 様 (山東2回)
10月16日 茂木 源雄 様 (山東10回)
10月26日 木村 雅一 様 (山東1回)
10月28日 高橋 輝雄 様 (一高1回)
10月30日 小林 美隆 様 (山東19回)
10月31日 向 裕 様 (山東10回)
11月8日 佐藤(原田)悦子 様 (山東4回)
11月11日 阿部 政男 様 (山東10回)
11月17日 高橋 鴻次 様 (山東10回)
11月21日 桃井 義寛 様 (山東3回)
11月21日 和田(松本)久子 様 (山東3回西)
11月23日 鈴木(志田)敏子 様 (山東10回)
11月24日 奥山 啓一 様 (山東4回)
11月26日 伊藤 欣一 様 (山東4回)
11月26日 長谷川 靖彦 様 (山東4回)
11月30日 花輪 正明 様 (山東22回)
12月2日 岩田 聡 様 (山東4回)
12月3日 笠原(吉田)日出夫 様 (山東4回)
12月4日 今田 實論 様 (山東1回)
12月4日 佐藤 義論 様 (山東28回)
12月6日 森山 章義 様 (山東1回)
12月7日 高橋 昭保 様 (山中58回)
12月8日 高梨 信保 様 (山東20回)

- 令和5年 1月14日 佐藤 孝男 様 (一高2回)
1月19日 川井 壯一 様 (山東10回)
1月22日 佐伯 和則 様 (山東21回)
1月30日 長谷川 浩一 様 (山東7回)
2月6日 宮林 主則 様 (山東32回)
2月7日 村井 信彦 様 (山東31回)
2月18日 仲野 恭一 様 (山東8回)
2月19日 堀 義博 様 (山東21回)
3月9日 伊勢 善六 様 (山東1回)
3月24日 山本 正幸 様 (山東3回)



遠藤 来二 様 (山中54回・元校長)

数学教諭として母校に昭和24年より22年間勤務され、昭和55年、第29代校長に就任。「山中・山東百年の歴史」の掉尾を飾る大任を前に「鞠躬如として精進する覚悟」と語られ、旧校舍解体、新校舎建設、講堂新設と槌音の鳴り響く中、生徒達の学習環境の保持に腐心されつつ陣頭指揮をとられた。ご尽力により塔屋に掲げられた県下一(当時)の校章は、山東生に無言のエールを送り続けている。

山東奨学会

- 令和4年 5月9日 第22回理事会
令和3年度事業報告
決算承認
理事・監事候補者の選任
評議員会の開催
6月8日 第9回評議員会
令和3年度事業報告
決算承認
理事・監事・評議員の選任
6月24日 第23回理事会(書面決議)
理事長の選定
常務理事の選定
令和5年 2月9日 第24回理事会
令和4年度事業経過報告
令和4年度予算執行状況見込
令和5年度事業計画
予算承認
3月23日 奨学生審査会
3月29日 奨学金贈呈式 3名に贈呈

慶 祝

- 令和4年 4月29日 瑞宝中綬章 鈴木 勝義 様 (山東11回)
瑞宝双光章 白田 亨 様 (山東28回)
瑞宝单光章 柏倉 一男 様 (山東25回)
5月1日 瑞宝双光章 武田 弘 様 (山東3回)
7月1日 瑞宝双光章 木村致洋子 様 (山東3回西)
7月5日 瑞宝双光章 新関 嗣朗 様 (山東5回)
11月3日 瑞宝中綬章 山口 秀谷 様 (山東19回)
東海林 寿秀 様 (山東21回)
長谷川 吉茂 様 (山東18回)
渡部 泰山 様 (元山東校長)
恒雄 様 (山東15回)
長沢 好光 様 (山東16回)
青柳 桂一 様 (山東17回)
旭日双光章 大河原 康雄 様 (山東20回)
瑞宝双光章 海老名 陽一 様 (山東19回)
山形県産業賞 東海林 秀典 様 (山東17回)
11月11日 瑞宝小綬章 茂木 源雄 様 (山東10回)
12月1日 瑞宝双光章 大場不二雄 様 (山東3回)

篤志寄付

- 令和4年 4月21日 中村賞へ寄付
遠藤 澄男 様 (遠藤書店)
9月7日 前田春治 様 (一高1回) 作
絵画50号「山頂」他4点
三澤 忠彦 様 (山東25回)
絵画40号「浅春蔵王」他1点
九重会 (山東25回) 代表 斎藤 篤様
10月15日 前田春治 様 (一高1回) 作
「山形東高等学校校舎」画集
山中山東東海同窓会
12月21日 中村賞へ寄付 300万円
中村 能昌 様 (山東9回)
令和5年 1月25日 図書購入費 10万円
探究活動支援費 10万円
山形市役所東高会
1月26日 教育奨励費 20万円
(文化部・運動部奨励費10万円)
図書購入費5万円・奨学会
基金5万円)
山形県庁東高会
2月9日 教育後援会へ寄付 110万円
山形東高同窓会
2月15日 山東奨学会へ寄付 100万円
興田教育財団

職員動向

本校に係る令和4年度末の人事異動をご報告します

〈転出者〉(敬称略)

黒木 晃(教頭・1年)教育局高校教育課へ
木村 元昭(数学・3年)ご退職・本校講師へ
山澤 宏行(国語・2年)ご退職
遠藤 淳一(英語・1年)ご退職
山川 智昭(英語・23年)寒河江高校へ
齊藤 智昭(地歴・19年)谷地高校へ

那須 祐介(保体・11年)教育局スポーツ保健課へ
丸山あき子(芸術・4年)教育センターへ
久世 健(数学・3年)寒河江工業高校へ
佐藤 歌穂(数学・2年)新採・新庄神宮産業高校へ
村上 温子(事務部長・4年)上山高等養護学校へ
浅井 幸世(学校司書・8年)山形北高校へ

〈転入者〉(敬称略)

矢野 純嗣(教頭) 山形南高校より
太田 恵(国語) 上山明新館高校より
早川 さくら(地歴) 新採
佐藤 剛(数学) 寒河江高校より
澁谷 恭亮(数学) 他県より
慧(保体) 東桜学園高校より
栗村 啓子(芸術) 霞城学園高校より
井上 文(英語) 教育庁高校教育課より
宮崎 光(英語) 南陽高校より
海谷 玲子(総務主査) 知事部局より
大野 智宙(学校司書) 山形工業高校より

令和5年度 同窓会役員

役員

会長 高橋 一夫 山東21回
副会長 高矢 高橋 弥秀 山東21回
幹事長 高橋 宣均 山東29回
副幹事長 高橋 勝幸 山東30回
幹事 永井 聡子 山東36回
山澤 野寿 山東38回
長谷川 浩一郎 山東39回
山澤 廣 山東39回
中村 祥之 山東41回
佐藤 陽佳 山東44回
伊坂 部経洋 山東47回
丹野 茉依 山東51回
斉藤 和巨 山東54回
監事 伊勢 正平 山東25回
吉田 昌野 山東52回
事務局長 今野 義之 山東25回

評議員

山中55回 昭南会 設 栄 隆
山中58回(4) 銀河会 西 久 男
山中59・60回 太平会 佐 藤 良 助
山沖62・高畑 今野 成 行
山東2回 東友会 登 坂 光 雄
山東4回 東四会 阿 部 諒 悦
山東5回 古稀会 山 口 隆 公 博
山東6回 六翠会 小 松 公 宗
山東7回 一行会 一 真 田 厚
山東8回 東八会 深 瀬 智
山東9回 東鳩会 伊 藤 光 一 郎
山東10回 東濤会 逸 見 誠 司 啓
山東11回 東土会 斎 藤 伸 一
山東12回 東睦会 井 上 葉 正 彦
山東13回 三山会 秋 葉 敏 男
山東14回 龍雲会 大 場 幸 恵
山東15回 笑龍会 宇 治 川 幸 弘
山東16回 竹馬会 蜂 屋 越 進
山東17回 六七会 川 越 夫 則
山東18回 東哉会 伊 藤 俊 義
山東19回 鵬雲会 滝 口 誠 一 毅
山東20回 翠巒会 千 後 誠 裕 信
山東21回 四六会 大 藤 幸 藏
山東22回 主一会 志 也 会 高 橋 稔 篤
山東23回 志也会 高 齋 藤 口 祐 三 郎
山東24回 東翼会 齋 藤 小 関 一 哉
山東25回 九重会 野 小 伊 藤 三 之 宏
山東26回 互一会 野 小 関 一 哉
山東27回 東紋会 野 小 関 一 哉
山東28回 天馬会 伊 藤 三 之 宏
山東29回 共一会 江 袋 一 敬
山東30回 東翔会 浅 黄 玉 克 也
山東31回 五六会 児 籠 水 功 泰
山東32回 槌音会 樋 水 藤 英 司
山東33回 継世会 佐 藤 林 直 樹
山東34回 双翼会 小 林 秀
山東35回 百東会 荒 木 秀 一

山東36回 慧琥会 赤 井 芳 賀 寿
山東37回 鴻紀会 青 木 秀 之
山東38回 東龍会 小 嶋 寛 之
山東39回 魁成会 鈴 嶋 清 晃
山東40回 東駿会 高 橋 祐 史
山東41回 翔洋会 吉 村 和 武
山東42回 志成会 原 今 野 和 広
山東43回 東鵬会 今 藤 康
山東44回 東阜会 進 藤 悦
山東45回 百珠会 黒 沼 芳 樹
山東46回 東玲会 高 梨 洋 平
山東47回 東凌会 阿 部 田 一 宜
山東48回 天成会 天 成 野 和 史
山東49回 東珀会 丹 野 竹 めぐみ
山東50回 雙紀会 佐 竹 秀 文
山東51回 東暁会 佐 竹 秀 文
山東52回 東愛会 武 田 信 博
山東53回 東魂会 鈴 木 貴 晴
山東54回 東粹会 佐々木 健 晴
山東55回 東節会 山 川 晃 広
山東56回 瑞雪会 武 田 弘 幸
山東57回 和成会 小 林 広 軌
山東58回 重友会 小 伊 藤 大 伸
山東59回 結昇会 武 藤 大 海
山東60回 六黎会 阿 部 龍 裕 也
山東61回 勢翔会 高 橋 裕 也
山東62回 栄継会 伊 藤 佑 一 郎
山東63回 六三志会 松 永 和 希
山東64回 天晶会 桂 舟 悠 壯
山東65回 勲東会 大 沼 類
山東66回 東緑会 大 沼 池 柊 斗
山東67回 東標会 菊 池 航 光
山東68回 讚燦会 池 上 達 良
山東69回 成節会 安 達 征
山東70回 令明会 金 山 由 征
山東71回 健穩会 國 井 信 之 介
山東72回 伍凜会 山 田 純 平
山東73回 蒼朋会 高 橋 壯 翔

顧問

浜田 敏 第10代会長 山東17回
日野 正 第33代校長
山川 史 第35代校長
佐藤 敏彦 第36代校長
伊藤 和夫 第37代校長
勝見 英一朗 第38代校長
相馬 周一郎 第39代校長
渡部 泰山 第40代校長
柳谷 豊彦 第41代校長
菅間 裕晃 第43代校長
佐藤 俊一 第44代校長

相談役

森谷 寛 体育部OB会長 山東17回
吉田 眞一郎 文化部OB会長 山東17回

地域・職域同窓会

Table with columns: 同窓会名, 会長・支部長, 事務局, 局. Lists various regional and professional alumni associations with their respective leaders and contact information.

三浦新七博士の生涯と業績 (2)

～学問は学問のための学問であってはならぬ 何のための学問か考えよ～

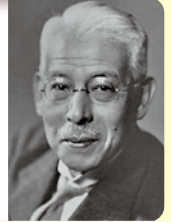
明治28年(1895)9月、三浦は日本最初の官立の商業学校「東京高等商業学校」—東京商科大学を経て、現在の一橋大学の前身—に入学する。学校は薩摩藩出身で初代文部大臣森有礼が銀座尾張町の鯛味噌屋の二階に開いた私塾商法講習所に由来する。森は初代アメリカ代理公使としてワシントンに滞在し、そこで英米両国では実業家が官僚や政治家に勝るとも劣らない活躍を見せており、国家独立の基礎は経済の富強にあることに感銘、福澤諭吉に商業学校設立の趣意書を依頼する。近代的商法に目を向けない守旧的商人や国の商業・貿易に対する政府の無為無策に歯ざりしていた福澤は、森の依頼を一も二もなく快諾し一文を与える。以下。

「日本の文明は何事も欧米諸国に比べて遅れているから、ひとり商法がつかないことをとがめる理由はない。しかし、維新以来、学問、芸術、兵制、工業の進歩は見るべきものがあるのに、今日に至るまで日本国中にどうして一カ所も商業学校がないのか。国の一大欠点と云うべきである。およそ西洋諸国では商人あれば必ず商学校がある。武家の世に武士あれば必ず剣術道場があるのと同じである。剣を持って戦う時代には剣術を学ばなければ戦場に向かうことはできない。商売で戦うには商法を研究しなければ外国人に対抗することはできない。「門閥制度は親の仇でござる」という有名な言葉を残した福澤らしい一文である。

東京高商時代の三浦は、1年飛び級し首席で卒業した山形中学時代と同様に抜群の成績であったが、がり勉というのではなく、余暇は歴史や哲学書を読みふけた。

明治34年、専攻部銀行科に進んだ三浦は世間をあっという間に驚かせる。日清戦争で異常なほどに活況を呈した日本経済は「山高ければ谷深し」の言葉通り、アメリカの綿織物の需要減退によって最大の輸出産業である紡績・織物業界を中心に倒産が続出し銀行も破綻する。大阪商業会議所は打開策を求めて懸賞論文を募集、三浦は長編『恐慌論』の一編を応募し全国第一席に当選し「東京高商に三浦あり」と名を轟かせた。論文では「整理すること」をキーワードに順々と経済救済策を説いた。冒頭でズバリ「財政悪化の病魔は過大な軍備の拡張である」と断じ、「財政整理とは言い換えれば軍務財政の整理である。日清戦争勝利で得た償金に酔って軍備をさらに拡充、今や国家予算の半ばを不生産的な事業に投じている。我々国民が自らまいた種を刈らないことを悲しむ。軍備拡張といっても、兵器など外国から正当な値段で買い入れしているのかどうかを疑う。陸海軍省のまさに使い放題の治外法権の事態となっている。それゆえに私は、財政整理

三浦新七(1877-1947) 文明史家・経済人。東京商科大学(現一橋大学)学長。山形中学、東京高等商業学校卒業。ドイツに留学して比較文明史を研究し母校教授に。昭和金融恐慌に際して帰郷し両羽銀行(現山形銀行)頭取。貴族院議員。日銀参与。山東高同窓会第2代会長。遺稿集に『東西文明史論考』



はまず軍務においてすることを主張する」と。言論への風当たりが、軍部台頭の後の世に比べて強くなかったとはいえ、国家の存亡をかけた戦争に勝利した社会の昂揚のさなかに、軍備拡張を正面切って批判したのである。さらに、経営の根幹である重役はしっかりとした人物、専門的な知識を持つ人物を充て、監査役はよくよく見もせず判を押すような人物は直ちに廃し、事務組織は情実採用・情実人事を止めることと指摘。最後に実証に基づかずに不景気を煽る新聞記事を批判し、その新聞論調を鵜呑みにする経済界に対して世界経済を見据えた冷静な分析・判断が必要である、と説いた。

明治36年5月、三浦は商業研究のため文部省から3年間の海外留学を命じられてゲーテやニーチェの母校であるドイツの名門ライプツヒヒ大学に入学する。そこで、当時、一世を風靡した歴史学の大家カール・ランプレヒト教授と出会う。のちに三浦は語る。「学問をすることは全く治国平天下という実用的な目的であった。自分が留学生としてドイツに行った目的は商業政策をやることであった。しかし、商業政策をやるにしても歴史をやらねばならぬということが頭に染み込んだわけであるが、やがて歴史に対する興味が強められてしまった」。

3年の留学期間は瞬く間に過ぎ9年の歳月が経った。出発前に三浦本家の長女シゲと婚約していた。一刻も早く帰国させるため父新兵衛は一計を案じ「ハハキトク」と偽の電報を打つ。母は学問への道を拓いてくれた大恩人。三浦は帰国を決意し明治45年婚礼の式を挙げ本家を継ぐ。学問の道は妨げないと取り決められ母校で教授として「商業歴史」の講座を持ち、次々と論文を発表する。両羽銀行再建のため帰郷するまでの15年間、充実した学生生活を送ることとなる。



ドイツ留学時代
(ライプツヒヒの写真館で撮影)

山形商工会議所
花谷 賢一(四六会)

編集後記

よのなかのさまはちかごろ うつろへど かはらぬままの まなびやのとも (世の中の様は近頃移ろへど 変はらぬままの学び舎の友)。3年ぶりにということがよく聞かれますが、この3年間で社会情勢は大きく変わりました。そんな中でも変わらないのは、青春時代の思い出や友情です。久しぶりに同窓生と直に会い、あの頃と同じ若々しさを感じることができる同窓会の活動が、絆を深める貴重な機会としてまたにぎしく行われることを期待します。 寺澤 裕子(百東会) 庄司 隆志(東阜会)